

## SPRING-8 運転・利用状況

国立研究開発法人理化学研究所  
放射光科学総合研究センター

### ◎平成 29 年 4～6 月の運転実績

SPRING-8 は 4 月 3 日から 4 月 28 日までセベラルバンチ運転で第 1 サイクルの運転を行い、5 月 8 日から 6 月 9 日までセベラルバンチ運転で第 2 サイクルの運転を実施した。第 1～2 サイクルでは瞬時電圧低下によるビームアボート等があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は、第 1 サイクルは約 0.2%、第 2 サイクルは約 0.1% であった。

### 1. 装置運転関係

#### (1) 運転期間

第 1 サイクル (4/3 (月) ～4/28 (金))

第 2 サイクル (5/8 (月) ～6/9 (金))

#### (2) 運転時間の内訳

第 1 サイクル

運転時間総計 約 600 時間

①装置の調整およびマシンスタディ等 約 144 時間

②放射光利用運転時間 約 454 時間

③故障等による down time 約 1 時間

④フィリング変更時間 約 1 時間

総放射光利用運転時間（ユーザータイム = ② + ③

+ ④）に対する down time の割合（\*1） 約 0.2%

第 2 サイクル

運転時間総計 約 768 時間

①装置の調整およびマシンスタディ等 約 72 時間

②放射光利用運転時間 約 694 時間

③故障等による down time 約 1 時間

④フィリング変更時間 約 1 時間

総放射光利用運転時間（ユーザータイム = ② + ③

+ ④）に対する down time の割合（\*1） 約 0.1%

### (3) 運転スペック等

第 1 サイクル（セベラルバンチ運転）

・ 1/7 filling + 5 bunches (D)

・ 2/29 filling + 26 bunches (E)

・ 203 bunches (A)

第 2 サイクル（セベラルバンチ運転）

・ 11/29 filling + 1 bunch (H)

・ 11 bunch train × 29 (C)

・ 11 bunch train × 29 (C)

・ 入射は電流値優先モード（2～3 分毎（マルチバンチ時）もしくは 20～40 秒毎（セベラルバンチ時）の Top-Up モードで実施。

・ 蓄積電流 8 GeV、～100 mA

### (4) 主な down time の原因

・ 瞬時電圧低下によるアボート

・ SR RF Bst.サーキュレータアークによるアボート

### 2. 利用関係（JASRI 利用推進部 集計）

#### (1) 放射光利用実験期間

第 1 サイクル (4/8 (土) ～4/27 (木))

第 2 サイクル (5/9 (火) ～6/9 (金))

#### (2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン 26 本

専用ビームライン 19 本

理研ビームライン 11 本

第 1 サイクル（暫定値）

共同利用研究実験数 209 件

共同利用研究者数 886 名

専用施設利用研究実験数 153 件

専用施設利用研究者数	619名
第2サイクル(暫定値)	
共同利用研究実験数	355件
共同利用研究者数	1,575名
専用施設利用研究実験数	242件
専用施設利用研究者数	976名

◎平成29年6～8月の運転予定

SPring-8は6月12日から7月7日までセベラルバンチ運転で第3サイクルの運転を行い、停止期間をはさみ、7月10日から8月1日までセベラルバンチ運転で第4サイクルの運転を予定している。第3～4サイクルの運転実績については次号にて掲載する。

◎今後の予定

8月2日から9月24日まで夏期点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業、各種検査等を行う予定である。

(\*1) down time の割合に④フィリング変更時間は含まない。